



## 今月の表紙

### 「令和4年只見町成人式」

参加希望者全員が、会場で集まることができ、近況報告と一緒に写真を撮るなど久しぶりの友人との再会を喜ぶ姿が見られました。皆さん、本当におめでとうございます！

### 《特集》

- 只見町成人式 ..... 2～3
- 「2022 日本ユネスコエコパーク ネットワーク大会 in 只見」開催 ... 4～5
- 《News&flash》 ..... 6～7
- 《町の話》 ..... 8～9





ご成人おめでとーございます!

# 令和4年度 只見町成人式

令和4年度の只見町成人式が8月15日に季の郷湯ら里で行われ、山村留学生17期生4人を含む新成人31人（男性15人、女性16人）が出席しました。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、事前に抗原検査を行う他、会場内でのマスク着用や手指の消毒などを実施しながらの開催となりました。

式では、新成人を代表して目黒響さんが渡部勇夫町長から成人証書を受け取りました。また、家族からの手紙が全員に渡され、新成人の皆さんは、照れくさそうな表情を見せながらも真剣に手紙を読み、家族からの思いに涙を流す姿も見られました。最後には、新成人を代表して目黒響さんが謝辞を述べ、只見町成人式が閉式しました。



▲家族からの手紙を読む新成人の皆さん



▲友人たちとの久々の再会に会話も弾みました

## 謝辞



新成人代表 目黒 響さん

本日はコロナ禍という大変な状況下の中、このような盛大な式を開催していただき、心より感謝申し上げます。

私たちは、学生として社会の勉強をしている人、就職して毎日仕事に奮闘している人、まだ将来の夢を迷っている人、様々です。

おかれている立場は違えど、私たちはこの只見町というふるさとで生まれ育った仲間です。この先、挫折することがあるかもしれませんが、そんな時でも、只見町というふるさとがあります。支えてくれる家族も、地域の方々もいます。仲間がいます。そんな只見町で、成人式を迎えることができ、本当に嬉しく思います。

成人を迎えた今、大人という自覚を持ち、責任の持てる社会人として歩いていくという決意をここに誓います。どうか今後とも、ご指導ご鞭撻をいただきますようお願いいたします。



## 「18歳の酒」project



プロジェクト  
「18歳の酒」projectとは、只見高校・南会津高校の3年生を対象に地元の“ものづくり”に直に触れてもらいたいという想いにより始まったプロジェクトです。

高校3年生の時に「酒米づくり」と「酒造り」を体験します。出来上がったお酒は2年間貯蔵し、酒づくりを体験した方に成人式でプレゼントされます。

当日は、渡部町長から参加者代表の鈴木美羽さんに「18歳の酒」が手渡されました。

## 町長からのメッセージ



本日は、誠におめでとうございます。

只見高校野球部が今年の春のセンバツ大会に出場しました。「雪がいっぱい降るから、過疎の町だから」という環境を嘆かず、環境を日常として受け入れ、ひたむきに自分たちができる事をやり切ろうという日々の努力の先に甲子園の切符をつかみ取りました。

改めてこの姿勢に学びながら、人物本位で自然環境と文化を活かし持続的な産業活動と町づくりを目指してまいります。

そこで皆さんにお願いがあります。只見町は、もっともっと地域の魅力を磨き上げ、持続的な町づくりに取り組んでまいりますので、見守ってください。そして皆さんのお力を貸してください。それは今すぐでなくても構いません。近い将来でもよいので、只見町のまちづくりの力になっていただける日がくることを願っています。

これからは、成人として自分の行動や言葉に自覚と責任をもち、そして、それぞれの目指す未来を歩んでいってください。

只見町は、いつまでも皆さんを応援し続けています。

## 夢に向かって

参加した皆様から夢や目標を教えてくださいました。夢に向かってこれからも頑張ってください。

※撮影にご承諾いただいた方のみを掲載しております。

実習頑張る!

次立  
100億

美味しい  
料理を作る!

体重減量

地域の  
安心・安全

県民の  
安心・安全

立派な理容師になって  
おばあちゃんを頼ぐ!



# 「2022 日本ユネスコエコパーク ネットワーク大会 in 只見」開催

## 「日本ユネスコエコパークネットワーク ～Japanese Biosphere Reserves Network～」とは？

日本で登録されている全国10地域のユネスコエコパーク間の情報交換や交流、協働を通じて、ユネスコエコパークの活動の発展と向上を目指すため、平成27年に設立されたものです。

毎年、各ユネスコエコパークの担当者や文部科学省など関係者が国内のユネスコエコパーク登録地に集まり、事業報告や意見交換、現地視察などを行う「日本ユネスコエコパークネットワーク大会」が開催されています。今年は7月26日、27日に只見町で開催されました。「日本ユネスコエコパークネットワーク大会」の前身である「第1回ユネスコエコパークネットワーク会議」が只見町で開催されてから、約10年ぶりの只見町開催となります。



## 「2022 日本ユネスコエコパークネットワーク大会」

今回の日本ユネスコエコパークネットワーク大会は、総会、意見交換会、現地視察の3部制で行われました。総会では、渡部町長が「只見町で開催した第1回会議時の登録地は5地域だった。それから約10年で10地域が登録され、平成29年にイオン環境財団と連携協定を締結した。『人間と生物圏とのより良い関係を築いていく』というユネスコエコパークの理念のもと、各登録地が抱える課題の解決に向けて、情報交換出来るような組織を目指していく」と挨拶しました。



▲大会参加者での集合写真



▲会場後方に設置された国内各登録地の紹介パネル



総会後の意見交換会では、参加したユネスコエコパークの概要や各地域での自然やアウトドアを利用した観光促進、ガイド制度、特産品の認証制度などの説明があり、それらについて活発な意見交換や情報共有が行われました。只見町からは脱炭素・森林資源の持続可能な利活用を目指す取り組みや、伝統的な文化・後継者継承のためのマタギサミットの開催などを紹介しました。最後に、文部科学省国際統括官付国際統括官補佐の堀尾多香氏からMAB計画<sup>(※1)</sup>に関する国内外の動向についての説明と、公益財団法人日本自然保護協会生物多様性保全部主任の朱宮丈晴氏からユネスコ未来共創プラットフォーム事業<sup>(※2)</sup>の説明が行われました。



▲各ユネスコエコパークの概要を説明する担当者



▲活発な意見交換が行われました

27日に行われた現地視察では、2つのテーマに分かれ、只見町内を視察しました。

第1コースでは「ダムによって作られた自然環境・生物多様性と発電所内部見学」をテーマに、田子倉ダムの奥に広がる只見ユネスコエコパーク核心地域と、田子倉ダムの視察を行いました。

第2コースは「日本一“ちいさな蒸留所” ねっかに学ぶ地域づくりと観察の森見学」をテーマに、ねっか蒸留所内部の見学を行いました。また、蒸留所の上流域に位置し、水源林となっている「ただみ観察の森 梁取のブナ林」に入り、只見町のシンボルであるブナや人との関わりについて視察を行いました。



▲ただみ観察の森 梁取のブナ林の視察では、間近で只見町の自然を観察しました



▲田子倉ダム視察では、株式会社電源開発の方から田子倉ダムの規模などの説明を受けました

## 日本ユネスコエコパークネットワークのこれから

ユネスコエコパークの最大の魅力は人と自然とが関わりあって生きていることです。ユネスコエコパークを町づくりの枠組みとして、貴重な自然環境を守り、自然を上手く活かした持続可能な地域振興を目指しています。本日本ユネスコエコパークネットワークでは、これからも登録地間の情報交換、交流、協働を通じてユネスコエコパークの活動の発展と向上、課題解決のための活動をしていきます。

※1：MAB計画（「MAB（マブ）」＝人間と生物圏）

「人と自然の共生」を目的としたユネスコ（国際連合教育科学文化機関）の取組

※2：ユネスコ未来共創プラットフォーム事業

世界や地域の課題解決のため、専門家や関係者の知見を得てユネスコ活動を推進することを目的とした文部科学省の事業



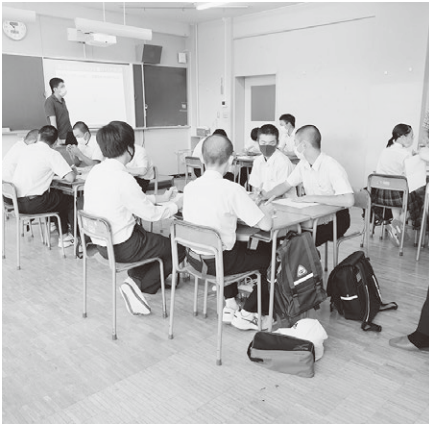
## 進路を考える

### 「只見高校体験入学」実施

「只見高校体験入学」が7月27日に開催され、只見中学校や南会津中学校などの生徒・保護者が参加しました。

全体会では、生徒会長の岩佐優生さん（山村教育留学生）が「只見高校の魅力は大自然に囲まれた中で様々な活動を行えることです。今日は、只見高校での生活を楽しんでください」とあいさつをしました。その後、参加者はパソコン班が作成した学校紹介動画を視聴し、高校生活の1日の流れなどを確認しました。

また「総合的な探究の時間」などの体験授業に参加したり、寮の見学を行ったり、只見高校での生活のイメージを膨らませました。



▲体験授業「総合的な探究の時間」の様子

## 安全な道路の確保に向けて

### 令和4年度「県道小林館の川線改良促進期成同盟会」総会開催

「県道小林館の川線改良促進期成同盟会」の総会が8月2日に行われ、南会津建設事務所長や会員など約20人が出席しました。

総会では、昨年度事業報告の後、関係機関への要望活動等について協議が行われました。要望内容には、県道小林館の川線の未改良区間の改良工事の促進や雪崩発生箇所の防雪対策工事に関するなどが含まれています。

また、南会津建設事務所から、今年度の工事などに関する事業計画説明などが行われました。



▲質疑応答なども行われ、活発な総会となりました

## 魅力的なまちづくりの人材確保のため

### 「オンライン町村役場見学ツアー」開催

公務員に関心のある学生や社会人に向けた「オンライン町村役場見学ツアー」が8月3日に実施され、只見町を含めて10町村の紹介が行われました。

この事業は、福島県が町村職員の採用活動を支援するもので、各町村のPRや職員の仕事内容紹介を行い、将来的な職員確保を目的としています。

只見町の紹介では若手職員が、自身の仕事についての紹介や働こうと思ったきっかけなどを視聴者に向けて伝えました。



▲仕事のやりがいを伝えた町職員

## 只見線を生かした地域振興を考える

### 「これからの只見線と観光振興を考えるシンポジウム」開催

「これからの只見線と観光振興を考えるシンポジウム」が、8月7日に開催されました。

第1部では季の郷湯ら里の村岡輝久常務が講演し、「訪れた人に感動と満足を与え、また来てくれる地域応援団をつくるのが大事」と話しました。

その後、星賢孝さん、只見線利用愛好者の大越智貴さん、「只見線なんとか会」の佐藤英里さん、渡部只見町長、会津広域観光推進議員連盟の古川雄一会長によるパネルディスカッションが行われました。



▲第2部では只見高校野球部の長谷川清之監督が講演しました



農地利用最適化推進委員	氏名	住所	担当区域
	新國 和八	只見	石伏・只見・館ノ川・黒沢・叶津・八木沢
	矢沢 友一	塩沢	蒲生・寄岩・塩沢・十島
	堀金 太一	福井	檜戸・小川・下福井・上福井
	本名 一貴	黒谷	黒谷
	大竹 恒	熊倉	長浜・荒島・熊倉・亀岡・深沢
	佐藤 孝輝	小林	小林・大倉
	鈴木 豪	塩ノ岐	梁取・二軒在家・塩ノ岐
	湯田 次雄	布沢	坂田・布沢

農業委員会	氏名
	渡部周一郎(職務代理)
	三瓶新一郎
	目黒 美樹
	佐藤 泉太
	吉津 榮一
	渡部 理一
	齋藤 聡
	星 和榮
	山内 征久
小沼 一弘(職務代理)	
飯塚 春夫(会長)	

只見町農業委員と農地利用最適化推進委員が、任期満了に伴い改選されました。それぞれの委員は次のとおりです。

農地利用の最適化を目指して「農業委員会」の選任と「農地利用最適化推進委員」の委嘱



▲現場で説明を聞くことで、より仕事内容を知ることができました

只見高校生を対象とした企業説明会が8月22日に行われ、只見高校生12人が参加しました。企業説明会は、永洸建設株式会社、こぶし苑、株式会社津島、只見町役場の5者が、それぞれの仕事内容や企業理念などの説明・紹介を行いました。高校生は、「今まで興味を持っていなかった仕事にも目を向けることができた。進路を考える参考にした」と話しました。

地元企業を知る「只見町企業説明会」



▲感謝状を渡す深谷局長(右)と受け取る渡部町長(左)

個人県民税の納付について、優良な成績を収めた自治体に対する知事感謝状贈呈式が8月24日に役場で行われ、深谷一夫南会津振興局長から渡部町長に伝達されました。今回の表彰は、令和3年度分が対象で、納付率は99.8%でした。皆様のご理解・ご協力に感謝いたします。引き続き令和4年度分につきましても、完納を目標にこれからも計画的な納付へのご協力をお願いいたします。

令和3年度個人県民税の納付 只見町に県知事から感謝状



▲謝辞を述べる目黒吉久さん

目黒吉久さん…平成8年から3期12年町議員を務め、平成20年から2期8年只見町長を務める。

春の勲章で旭日双光章を受章された元只見町長の目黒吉久さん(坂田)の叙勲を祝う「目黒吉久氏叙勲祝賀会」が開かれました。発起人を代表し、渡部町長があいさつし、大塚純一郎町議会議長らが祝辞を述べました。目黒さんは、出席された方に感謝を伝えた後、「只見町が、次世代にとって魅力と可能性のあるふるさとにしていきたい」と謝辞を述べました。

功績を称え受章を喜び祝う「目黒吉久氏叙勲祝賀会」開催



## J R 只見線全線再開通を盛り上げる

# 角田杏さん「只見線36駅+2駅自転車全駅制はの旅」

全線再開通する J R 只見線を盛り上げようと角田杏さん（明和小6年）が、7月30日、31日に J R 只見線沿線の全36駅と廃駅となってしまった柿ノ木駅・田子倉駅を自転車で走破しました。

杏さんは、「この挑戦で只見線が注目されて、全線運転再開の応援になればいいなと思いチャレンジしました。駅に住民の人などが駆け付けてくれたことが嬉しかったです。全線運転再開後には、1人で只見線を使ってお出かけをしたいです」と感想や今後の目標を話しました。



▲ゴールの J R 会津若松駅では、駅長と駅員の方々に出迎えていただきました

## 町内で繁殖する鳥たちを観察

# 「春から初夏の野鳥観察会」開催



▲参加者は、只見町内の鳥類の多様性を実感しました

「春から初夏の野鳥観察会」が4月から6月まで開催されました。観察会は、各月1回行われ、1回目は黒谷川、2回目は恵みの森周辺、3回目は新田沢を観察地としました。全3回の観察会を通して、オオルリやホオジロなど延べ48種が確認できました。

9月24日、10月29日、11月26日には「秋から初冬の野鳥観察会」が開催される予定です。詳細については、只見町ブナセンター（電話：0241-72-8355）までお問い合わせください。

## 身近にある素敵な自然体験

# 「観察の森・余名沢のブナ林散策」

季の郷湯ら里の主催で「観察の森・余名沢のブナ林散策」が8月7日に開催され、町内の親子など27人が参加しました。

当日は、湯ら里のスタッフやブナセンターの指導員が講師を務め、昆虫や樹木の説明の他にクイズなどを行い、参加者たちは、身近にある自然について学びました。

参加した子どもたちは、「ちょっとした探検気分が味わえて楽しかった」と話しました。



▲最後には皆さんで記念撮影を行いました



## 幕末の勇士 河井継之助をしのぶ 「河井継之助墓前祭」が 行われました



▲墓前祭に参加された皆さん

「河井継之助墓前祭」が、河井継之助の命日となる8月16日に医王寺で行われ、関係者を中心に約40人が参加しました。

墓前祭は、渡部仁一実行委員長から、関係者や参列者へのお礼の言葉が述べられた後、焼香や読経が行われました。その後、渡部町長から追悼の言葉が述べられました。

また、当日は只見町河井継之助記念館の入館料が無料となっており、墓前祭後には多くの方が記念館に足を運びました

## 学生が講師に来てくれました 「サマースクール」開催



▲中学生に勉強を教える福島大学の学生

町内の小中学生を対象としたサマースクール（夏休みを利用した学習塾）が、8月7日から10日まで開かれました。

今年は、福島大学の学生を中心とした団体『F-caution サークル「ホップ」』に所属する学生7人が講師を務めました。

参加した小中学生は「優しく、分かりやすく教えてくれるので、勉強がとてもはかどりました」と話しました。

## 地元産品などが並びました 「明和マルシェ」開催



▲水ヨーヨーすくいもあり、子どもたちも楽しめました

明和自治振興会の主催で「明和マルシェ」が7月23日にただみ・モノとくらしのミュージアムピロティで開催され、子どもから大人まで多くの方が足を運びました。

明和マルシェは、10月まで月1回程度開催される予定で、地元産品や手作りの工芸品などが並びます。開催日につきましては、明和振興センター（☎0241-86-2111）までお問い合わせください。

## ただみ・モノとくらしのミュージアム 「開館記念講演会・ ギャラリートーク」開催



▲ギャラリートークで説明に立つ佐野教授

只見町教育委員会の主催でただみ・モノとくらしのミュージアム開館記念講演会（20日/季の郷湯ら里）とギャラリートーク（21日/モノとくらしのミュージアム）が開催され、神奈川大学の佐野賢治名誉教授が講演しました。

佐野教授は民具の大切さなどについて講演し、「只見町の人々はミュージアムを建てたことを誇ってください」と話しました。



## 広報ただみ診療所

障害があるとかないとか

朝日診療所 医師 もり 森 ふゆと 冬人



私は目が悪いです。眼鏡をかけて生活しています。さて、みなさんは私の事を「障害者」だと思いませんか？たぶん障害はないと思う人が多いでしょう。けれども、私は眼鏡がないと車も運転できません。ろくに仕事もできないでしょう。人と会っても顔が見えなくて、店先の看板も理解できなくて外出が嫌になるかもしれません。もしも「眼鏡なしで視力が良くないと運転免許停止だ」という制度なら生活に困ってしまいます。

私の目が悪くても普通に生活できる理由は、眼鏡を持っている他にもあります。眼鏡が壊れても数千円ですぐに新しい眼鏡が買えます。予備の眼鏡もちゃんと用意しています。眼鏡をつけていれば運転免許も取得できる制度になっています。なにより世の中の人々が「眼鏡をかけている人がいるのは当たり前」と自然に理解してくれます。

認知症の人、足が悪い人など、病気を持つ人・障害者と言われる人が、目の悪い私のように日頃から障害を苦しめず生活できれば良いですが、まだ難しい点もあるでしょう。良い認知症の薬があるとか、高性能の車椅子があるとか、そういう事だけでは解決できないのです。もちろん「ドラえもん」のような有能なロボットが付きっきりで支援できる時代になれば解決するかもしれませんが、きっと100年先の話でしょう。

認知症の人・障害がある人を支える制度やサービスがしっかりしている事、公共機関や商店がバリアフリーになっている事、書類や説明が目・耳が不自由でも高齢者でも理解しやすい事、そういうことも大事です。しかし、それだけではなく、広く多くの人々が、眼鏡の人が普通に隣にいるように、認知症の人も障害がある人も、隣にいることが当たり前だと理解できるかどうかの方が大切でしょう。私は認知症の家族と同居したことはないのですが、患者さん・ご家族・介護の職員から教えてもらい、認知症の人と共に暮らすことはどういうことなのか、大変な事も、幸せな事も少しだけ理解できるようになりました。様々な病気・障害を持った人が理解されて暮らしやすくなるにはどうすればいいのか、私も考え中です。

## 地域おこし協力隊として vol.93

只見町教育振興協力隊 にわ 丹羽 たかかず 貴一



私は、只見高校魅力化コーディネーターとして日々高校生と接しています。しかし大学生となると只見町でめったに接する機会がありません。高校生にとって、そして小中学生にとっても、自分の将来やってみたいことや夢、目標を育む上で、普段接することのない様々な大人に接する場は大切です。そんな機会のひとつが、教育委員会がひらいているサマースクール。今年も福島大学の学生さんに依頼し、小中学生向けの学習支援を行っていただきました。大学生たちは本当に真剣かつ朗らかに指導にあたってくれました。参加した子どもにとって充実した楽しい時間だったのはもちろんですが、スクールの後の時間も、もっと上手く教えられたのではないかと、明日はこうやって改善しよう、と熱く議論する大学生たちに、運営側の私たちも大きな刺激を受けました。また8月後半から1ヶ月間、心志塾でも東京大学の学生さんがインターンで活躍してくれています。奥会津学習センターで寮生たちと生活し、心志塾や高校で生徒の活動に参加したり学習支援をしたりする中で、高校生にとっていい刺激が生まれています。

こうした場がイベントとしてあることはとてもいいことなのですが、できれば今後、大学生がもっと継続的に只見町に関わる機会を増やしたいと考えています。只見町のような中山間地域で生の教育現場を体験することは、実は大学生にとっても貴重な機会です。只見町の子どもたちが良い刺激を受ける場が増えるように、参加した大学生が何度も遊びに来たり、参加者から後輩に関わりが受け継がれていく、という流れを仕組みとしてつくっていきたいです。



# みんなの只見線

## 身近なところでたびを楽しむ

只見線を利用する機会がない人も、どこかに旅行に行くときに違う町で鉄道に乗ると、旅気分が上がることはありませんか？

私が大学時代に暮らしていたところは歩いて十分のところ、に最寄り駅が四つありました。列車に乗っているのは私のような学生や観光客、地元の人に乗っていました。自転車でも行ける距離でしたが、気分転換で鉄道を利用する日もありました。

只見町に戻ってきてからはほとんどが車での移動のため、旅行に行くときは、どこかで鉄道に乗れるようにしたり、鉄道に乗って移動することを考えますが、簡単ではありません。只見線を利用するとなると、小出行きの只見線は一

日三本しか走っておらず、冬になると列車が運休することもしばしば。天気予報を見て、止まらないだろうか、雪崩が起きないだろうか、なんて考えながら旅程を考えることもよくあります。乗れるかどうか分らないこともありますが、車で移動するのは違って、列車から眺める只見町はいつもとは違う視点を私たちに見せてくれます。

ただ、一日に数本しか来ない列車をどう使うか、考えるくらいなら車で行った方がいいやと思う人も多いでしょう。お子さんが小さいと、荷物も多いし子どもが飽きてしまうこともあるし、足が悪い方にとってはいけない駅もあります。

また、二〇二〇年から新型

コロナウイルスが全国的に拡大し、しばしば行動制限が行われ、外出も思うようにできない日が続いています。いつになったら自由に移動して思う存分楽しめる日が来るのだろうか、と皆さんが思っていることでしょう。

これからしばらくは、遠くに出かける機会よりも近くで楽しめる場所を探してちょっとした旅をする方が増えていくと思います。普段行けない遠くへ国内旅行に出かけるのはもちろんいいですが、日帰りで楽しめる旅も息抜きやリラククスにはおすすめです。

塩沢にある河井継之助記念館は会津塩沢駅から歩いて十分ほどにあります。今年公開された映画「峠―最後のサムライ―」で河井継之助を演じ

た主演の役所広司さんが着ていた陣羽織や松たか子さんが着けたかんざしなどが展示されています。残念ながら只見町では映画撮影が行われませんでした。河井継之助が亡くなった終焉の間が当時のままに移築保存されているのは、本当に貴重なものです。

只見―会津川口は、九月三十日までは代行バスが運行されています。十一年間、不通区間をつないでいてくれた代行バスも乗り納めです。晴れの日も雨の日も、そしてもちろん雪の日も無事故でつないでくれた代行バスは、地元の人にとっては移動の足、そして旅する人にとっても大切な交通路線でした。

旅を辞書で引いてみると、住む土地を離れて他の土地に行くこと、他、古くは必ずしも遠い土地に行くことに限らず、住居を離れることをすべて「たび」といったそうです。

代行バスが走るのもあと一か月足らず。試運転の列車の走る風景を眺めて、只見町をたびする。気軽に小さな「たび」を楽しんでみませんか。

只見線地域コーディネーター

酒井 治子  
さかい はるこ



11年間只見線をつないだ代行バス



# 町民文芸



## 只見短歌会

令和四年八月詠草

吾が心明るくする如咲きさかる紫陽花のピンクひと時見入る

馬場 八智

捨て難く歳月過ぎし亡き母の日記に我が名ありて高ぶる

目黒 富子

他県にて一人住まいの同級生との話題はいつも中学時代

関谷登美子

花ぐもる玄関の屋根に雀二羽空を見地を見はやも飛び立つ

新国由紀子

一夜にて荒らせし跡ありトウキビを摘まむと早く畑に来れば

渡部ヨリ子

猛暑日の続く八月エアコンをつけて娘ら花を商ふ

新国 洋子

(出詠順)

## 只見俳句会

八月定例会

日高俊平太 指導

八月や父のつぶやき今になお  
カンカン帽しずかな父の語り口

恒 夫

コロナ禍や十口の我慢百日紅  
幼児は同じ本好き昼寝時

一 穂

不安げに巻きひげ伸ばす胡瓜かな  
炎天や配達員のバイク音

修 一

幾年ぞ人なき峠の渡り鳥  
語り継ぐ白河の関甲子園

信

水遊び髪のおだんご高くして  
夏暁や地面すれすれ鍬を引く

都

我が町もコロナが宿る盆の月  
散歩する我が道遠く一万歩

睦 子

芋の紹祖母の好みを受け継ぎて  
天上の蓮咲きこぼれ御薬園

紺 青

満点の星を田の面に螢の夜  
それぞれの思いにふける螢の夜

礼



# 今月のお知らせ

## 試験

令和4年度福島県職員採用  
選考予備試験(獣医師)

【採用予定職種及び  
採用予定人員】

獣医師 16名程度

【受験資格】

昭和38年4月2日以降生まれ  
た者で、獣医師の免許を有する  
者または取得見込みの者

【受付期間】

令和4年10月6日(木)必着  
※受付時間は平日午前8時  
30分～午後5時15分

【試験日及び場所】

○試験日時  
令和4年10月20日(木)

○場所

福島市杉妻町2-16  
福島県庁本庁舎 2F  
第一特別委員会室

【採用予定日】

令和5年4月1日

## 電話番号

総務課	
総務係 財政係	☎82-5210
地域創生課	
創生企画係	
ユネスコエコパーク推進係	☎82-5220
町民生活課	
税務係	☎82-5110
町民係	☎82-5100
保健福祉課	
保健係	☎84-7005
福祉係	☎84-7010
農林建設課	
農林係	☎82-5230
建設係	☎82-5270
観光商工課	
観光係 商工係	☎82-5240
会計室	☎82-5120
議会事務局	☎82-5300
農業委員会	☎82-5230
教育委員会	☎82-5320
学校給食センター	☎84-7180
只見保育所	☎82-2219
朝日保育所	☎84-2038
明和保育所	☎86-2249
朝日診療所	☎84-2221
(歯科)	☎84-2612
こぶし苑	☎84-2101
只見振興センター	☎82-2141
朝日振興センター	☎84-2111
明和振興センター	☎86-2111

【申込用紙の交付及び請求】

申込案内・提出書類については  
福島県ホームページ(<https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/01125c/senko4-1.html>)  
からダウンロードできます。

詳細につきましては、次の問  
合せ先にご連絡ください。

【問合せ先】

○福島県保健福祉部  
保健福祉総務課

☎024-521-1721

○福島県農林水産部農林総務課

☎024-521-1739

## お知らせ

災害(防災)情報サイトを  
ご活用ください

只見町ホームページでは、災  
害(防災)情報サイトを公開して  
います。気象情報や防災情報、  
防災関連サイトを掲載している  
他、災害発生時には、緊急情報  
等の発信も行います。

平常時から、災害が発生した  
場合の避難経路や持ち物などの  
確認をお願いします。

なお、災害(防災)情報サイ  
トは、次のURLからアクセス  
できます。

<https://www.town.tadami.lg.jp/emergency/index.html>

また、次のQRコードをお手  
持ちのスマートフォンなどで読  
み取っていただく  
ことでもアクセス  
できます。



登記手続案内は  
事前予約制です

福島地方務局(または支局・  
出張所)では、新型コロナウイルス  
感染症拡大防止のため、登  
記手続案内を電話対応としてい  
ます。

登記手続案内は事前予約制と  
なりますので、福島地方務局、  
または支局へご連絡ください。

※会社・法人に関する手続案内  
は、福島地方務局のみ行っ  
ております。

【問合せ・予約先】

○福島地方務局

・土地建物

☎024-534-2045

・会社法人

☎024-534-1904

○若松支局

・土地建物

☎024-211501

○田島出張所

・土地建物

☎024-162-0249

## 人事

只見町新規職員

新規職員 9月1日付

▽観光商工課

観光係

五十嵐 琢麻



## 税 今月の納期

9月26日までに  
納めましょう

- 国民健康保険税(3期)
- 水道使用料(2期)
- 農集排使用料(9月分)
- 介護保険料(3期)
- 後期高齢者保険料(2期)

## 平和首長会議会長が平和宣言を発表しました

只見町も加盟している平和首長会議の会長松井一實氏(広島市長)が、8月6日に  
広島市で行われた平和記念式典で今年の平和宣言を発表しましたので、一部を掲載し  
たします。

「核兵器廃絶とその先にある世界恒久平和の実現に向け、被爆地長崎、思いを同じ  
くする世界の人々と共に力を尽くすことを誓います」(平和宣言より一部抜粋)



# 町長から

只見町長 渡部 勇夫

◆明和小学校6年生の角田杏さんが、町長室に「只見線36駅+2駅自転車全駅制はの旅」の報告に来てくれました。杏さんは、7月30日、31日の2日間でJR只見線の駅（小出駅から会津若松駅）を自転車に乗って訪ね、駅ごとに地域の人にインタビューを行いました。その記録と共に180キロ余の旅の報告をしてくれました。さらに、駅ごとの記録写真と、もともと只見線を盛り上げるために「各地域での取り組み」「JR東日本での取り組み」として具体的な提案を盛り込んだ37ページの報告書を頂きました。

◆暑い中、沿線の方々の応援を受けながらペダルを一生懸命漕ぎ只見線の全駅を制覇した角田杏さんに、それを見守り応援された方々の気持ちを伝えたいと思い、「ありがとう」のプレートと記念品を手渡し、心から感謝を伝えました。本当にお疲れ様でした。※+2駅は、柿ノ木駅と田子倉駅です。（今は廃駅となっています。）

◆「洪水や濁水を未然に軽減するには森の土壌を柔らかくして、水が弾かれたりして表面を流れ去らないようにすることが大事である。逆に言うと、水が土壌に吸い込まれて浸透していくようになれば、地中をゆっくりと透過していくので、洪水や濁水は起きにくい。」と東北大学名教授の清和研二先生がある本に書かれていたのを読みました。

読み進めると針葉樹のみよりも「広葉樹が混じった強度間伐区で水の浸透能力が最大になることを見出した。」とも書かれています。「木を見て森を見ず」という諺は、小さいことに心を奪われて全体を見通さないことのととえで使われますが、今回の記事はまさに木の利用ばかりでなく、森を見る大切さを改めて教えて頂きました。

## 集落座談会にご協力いただきありがとうございました

集落座談会が、8月22日をもちまして終了いたしました。会場の準備にご協力いただいた皆様やお集まりいただいた皆様、ありがとうございました。

いただいたご意見等につきましては、今後の町政に生かしてまいります。

なお、回答を持ち帰らせていただいた意見等につきましては、改めて各区長へ回答いたします。よろしくをお願いいたします。

### 町長スケジュール (8月分)

- |    |  |     |  |
|----|--|-----|--|
| 1日 | 南会津農林事務所長との意見交換会、自治体DX推進トップマネジメントセミナー、蒲生集落座談会        | 10日 | 会津総合開発協議会 南会津地方部会 県要望（福島市）                       |
| 2日 | 県道小林館の川促進期成同盟会総会、町村長交流会（～3日）（東京都）                    | 12日 | 農業委員辞令交付式  |
| 4日 | 国道252号六十里越雪わり街道の清掃ボランティア、只見ふるさとづくり研究会要望              | 15日 | 只見町成人式   |
| 5日 | 政策調整会議、南会津地方広域市町村圏組合管理者会、南会津地方町村会役員会、南会津地方環境衛生組合管理者会 | 16日 | 河井継之助墓前祭   |
| 7日 | 只見線シンポジウム  | 18日 | 熊本日日新聞社取材  |
| 8日 | (株)福島中央テレビ取締役副社長他来庁、寄岩・塩沢・十島・塩沢集落座談会                 | 19日 | 只見町議会8月会議、9月補正予算町長査定                             |
| 9日 | モンベル会長との包括協定に関するZoom会議、定例庁議、下福井集落座談会                 | 20日 | 会津地域自然環境魅力発信巡回パネル展、ただみ・モノとくらしのミュージアム開館記念講演会      |
|    |  | 22日 | 大倉集落座談会  |
|    |  | 24日 | 個人県民税知事感謝状贈呈式、只見線全駅制覇(坂田 角田杏さん)の報告会、朝日診療所医師との懇談会 |
|    |  | 26日 | 南会津地方環境衛生組合議会定例会、南会津地方広域市町村圏組合議会定例会              |
|    |  | 27日 | 只見カップビーチバレーボール大会、元只見町長 目黒吉久氏 叙勲祝賀会               |
|    |  | 29日 | 議案検討庁議   |
|    |  | 31日 | 民生児童委員との懇談会                                      |



# 町民の消息

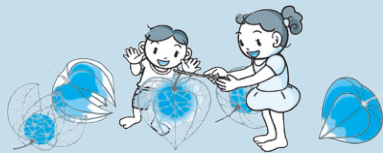
(7月26日～8月25日届出分)敬称略

## ■お誕生おめでとうございます

木下 大知 (男/翔太・都) 只 見  
 渡部 八恵 (女/兼介・真梨子) 只 見  
 横山 未怜 (女/大・萌) 大 倉

## ■おくやみ申し上げます

小 沼 靖 雄 53歳 福 井  
 渡 部 ヤヨエ 92歳 小 川  
 松 永 桂 子 75歳 只 見



※「町民の消息」欄に掲載を希望されない方は、届出のときにその旨をお伝えください。

# 人のうごき

令和4年8月1日現在

人 □ 3,840 (- 4)  
 男 1,901 (+ 3)  
 女 1,939 (- 7)  
 世帯数 1,589 (- 3)  
 高齢化率 48.7%

※高齢化率とは、65歳以上の人が人口に占める割合です。

転入 6 転出 11 出生 3 死亡 2

## あとがき

▽今年度、20歳を迎えられた方、迎える方、おめでとうございます。夢に向かって頑張ってください。  
 ▽JR只見線全線運転再開まで1か月を切りました。11年ぶりに只見駅から会津川口駅まで走る只見線の姿が楽しみです。  
 ▽お盆が過ぎ、気温がだいぶ落ち着きました。季節の変わり目ですので、皆さん体調にお気を付けてお過ごしください。

(小林)

1、ゆたかな緑ときれいな水をまもり美しい町をつくりましょう

1、互いに助け合い親切をつくし楽しい町をつくりましょう

1、産業をおこしみんなで働ける豊かな町をつくりましょう

1、教養を深め心と体をきたえ文化の町をつくりましょう

1、きまりを守り良い風習を育て住みよい町をつくりましょう

## 町民章



## 朝日振興センター 図書紹介

朝日振興センター図書室  
☎84-2111

# おすすめ新着図書

## ★ねこはるすばん



町田尚子 (ほるぷ出版)

にんげん、でかけていった。ねこは、るすばん。とおもいきや……？ 猫だってカフェに行くし、身だしなみを整える。——あなたの知らない猫の世界。「ねこがおとなしく、るすばんしてるとおもうなよ」。

町田尚子さんの描く、魅力的な猫の絵本です。

## ★掬えば手には



瀬尾まいこ (講談社)

ちょっぴりつらい今日の向こうは、光と音があふれている。『幸福な食卓』本屋大賞受賞作『そして、ボタンは渡された』に連なる、究極に優しい物語。

私は、ぼくは、どうして生まれてきたんだろう？

大学生の梨木匠は平凡なことがずっと悩みだったが、中学3年のときに、エスパーのように人の心を読めるという特殊な能力に気づいた。ところが、バイト先で出会った常盤さんは、匠に心を開いてくれない。常盤さんはつらい秘密を抱えていたのだった。

だれもが涙せずにはいられない、切なく温かい物語。

○朝日振興センターではリクエストを随時受付しています。読んでみたい本があれば、ぜひリクエストしてください。



## コカマキリ

(学名: *Statilia maculata*)

(写真・文 吉岡義雄)

【カマキリ目カマキリ科】



▲ メスの成虫。意外と体色はバリエーションに富み、写真のようなこげ茶色以外にも黄色みがあったものや赤みがあったものなども見られる。いずれも地上で目立たない保護色となる。

雑木林、草原、畑地、人家の庭など、様々な環境に生息する全長6cmほどのカマキリです。日本にはヒナカマキリなど、本種より小さいカマキリも生息していますが、人目につきやすい環境で見られるカマキリの中では本種がもっとも小型であることからこの名がついたと考えられます。体色はほとんどの場合褐色ですが、稀に緑色型も見られます。

只見での孵化は6月上旬ですが、幼虫は草の下に隠れるように生活しており、意識して探さないとまず目にすることはありません。成虫は8月下旬に出現し、羽化してしばらくは雌雄ともに夜間によく飛翔します。この時期に自販機や灯火の下を探すとガなどを捕食する姿が見られます。

メスは卵巣の発育が進んで身重になると飛翔しなくなりますが、メスを探して飛翔するオスは9月以降も灯火に集まります。肌寒い日が増える9月中旬以降の日中は日当たりのいい道路に出てきます。日光浴をすることで、体を温めるためであると考えられます。また、身軽なオスはクズやイネ科草本の上にもよく姿を見せます。

雌雄ともに11月まで活動します。オオカマキリやハラビロカマキリなど、よく似た環境に生息する中大型のカマキリと比較してオスが長寿ですが、その理由はよくわかっていません。

### 只見町ブナセンターからのお知らせ

附属施設「ふるさと館田子倉」では下記企画展を開催中です。  
皆様のお越しをお待ちしております。

写真展「この写真、どこ？だれ？何してる？

—皆川文弥が撮った只見線が開通した頃の只見—

会 期：2022年8月11日(木)～2022年11月28日(月)

場 所：ふるさと館田子倉 2階会議室